

地域別構想の検討（2）　＜地域づくりの目標＞

1. 地域別の将来像と方針図の検討プロセスの説明

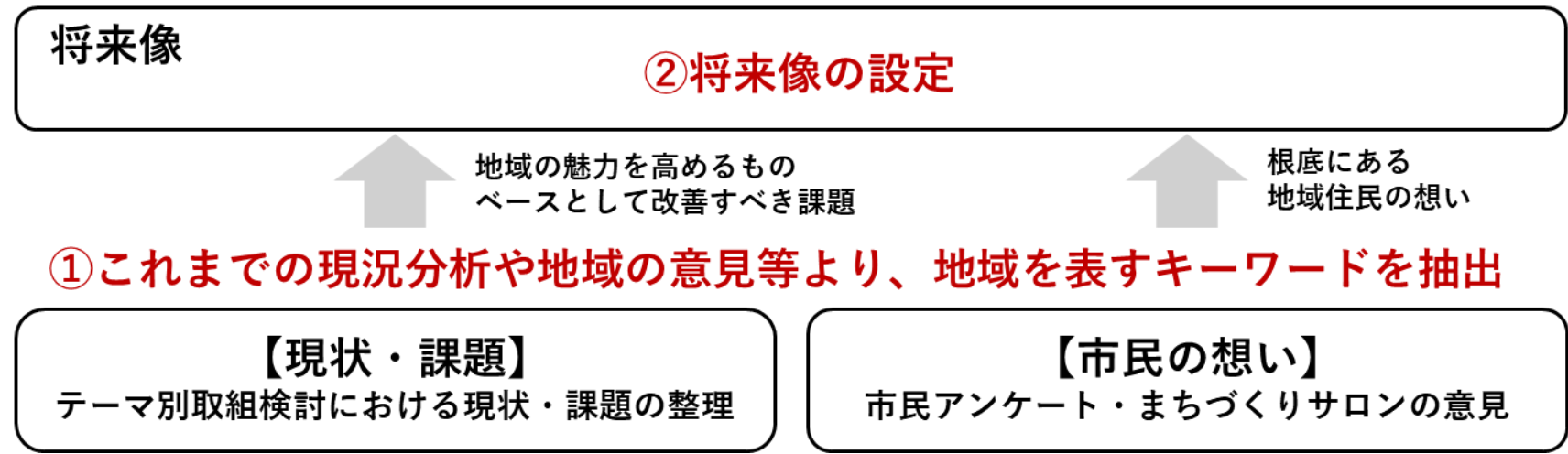
（1）地域別の将来像の検討プロセスの説明

各地域に将来像を以下のステップで検討しました。

- ①　これまで整理した「現状分析」や「市民アンケートやまちづくりサロンでの意見」等の把握から、各地域の特徴を表す主なキーワードやまちづくりに対する地域の想いを抽出します。

②　①のキーワードや想いを踏まえ、取組により実現された地域の姿が将来像に表現されることを念頭に置きつつ、地域らしさを表現するため、他の地域にもあてはまりやすい普遍的なキーワードよりも、地域の特徴が表現されているものに重きを置いて、将来像の文言を設定します。

〇〇地域の将来像



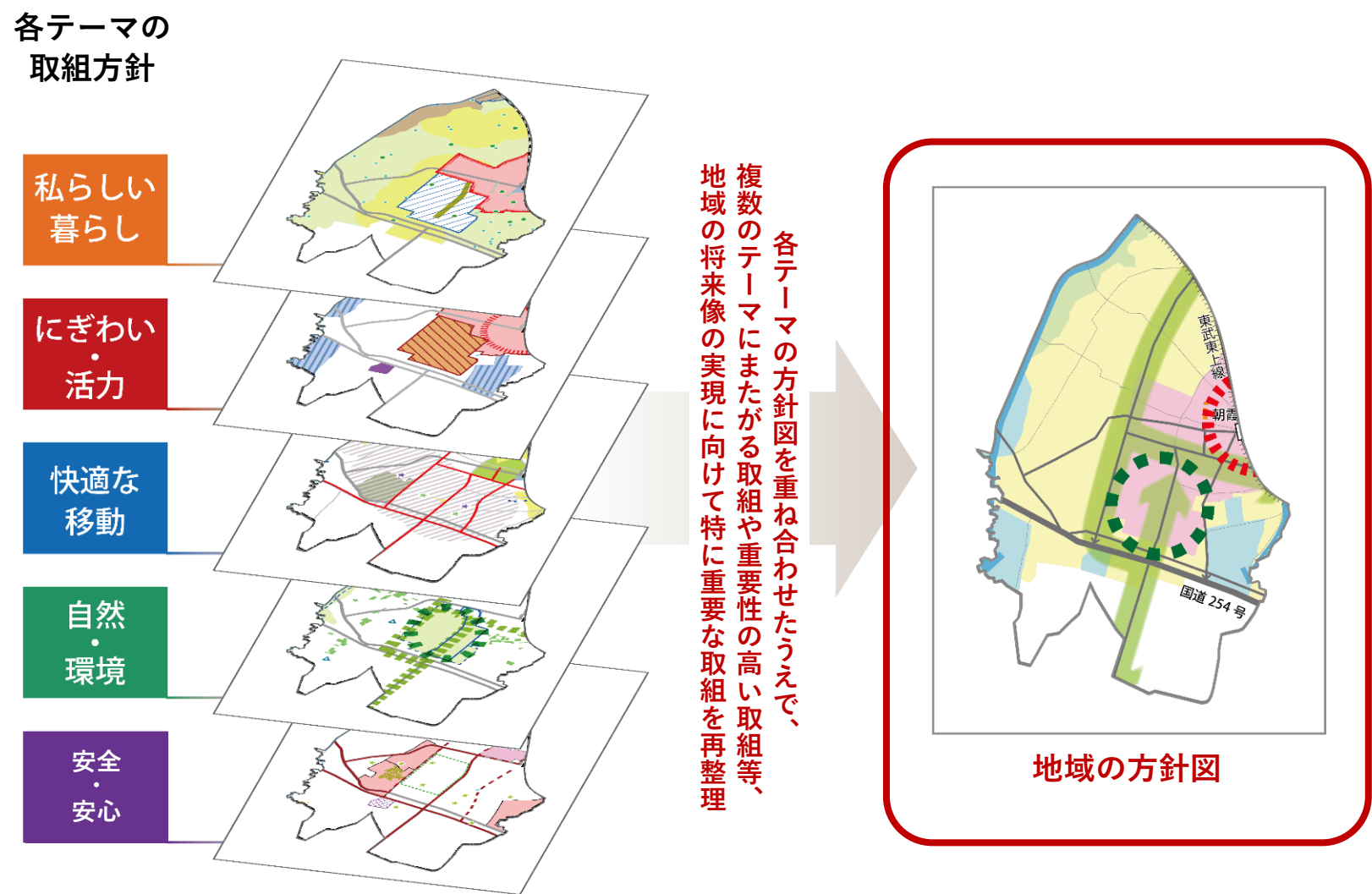
（2）地域別の方針図の検討プロセス

- 各地域の方針図は各テーマの取組方針を重ね合わせたうえで、複数のテーマにまたがる取組や重要性の高い取組等を抽出し、地域の将来像の実現に向けて特に重要な取組を再整理したものとして描きます。

●　複数のテーマに関連する取組※も存在することから、取組がどのテーマに関連するものなのかがわかるよう、取組の文言の後にテーマを表すアイコンを追加しました。

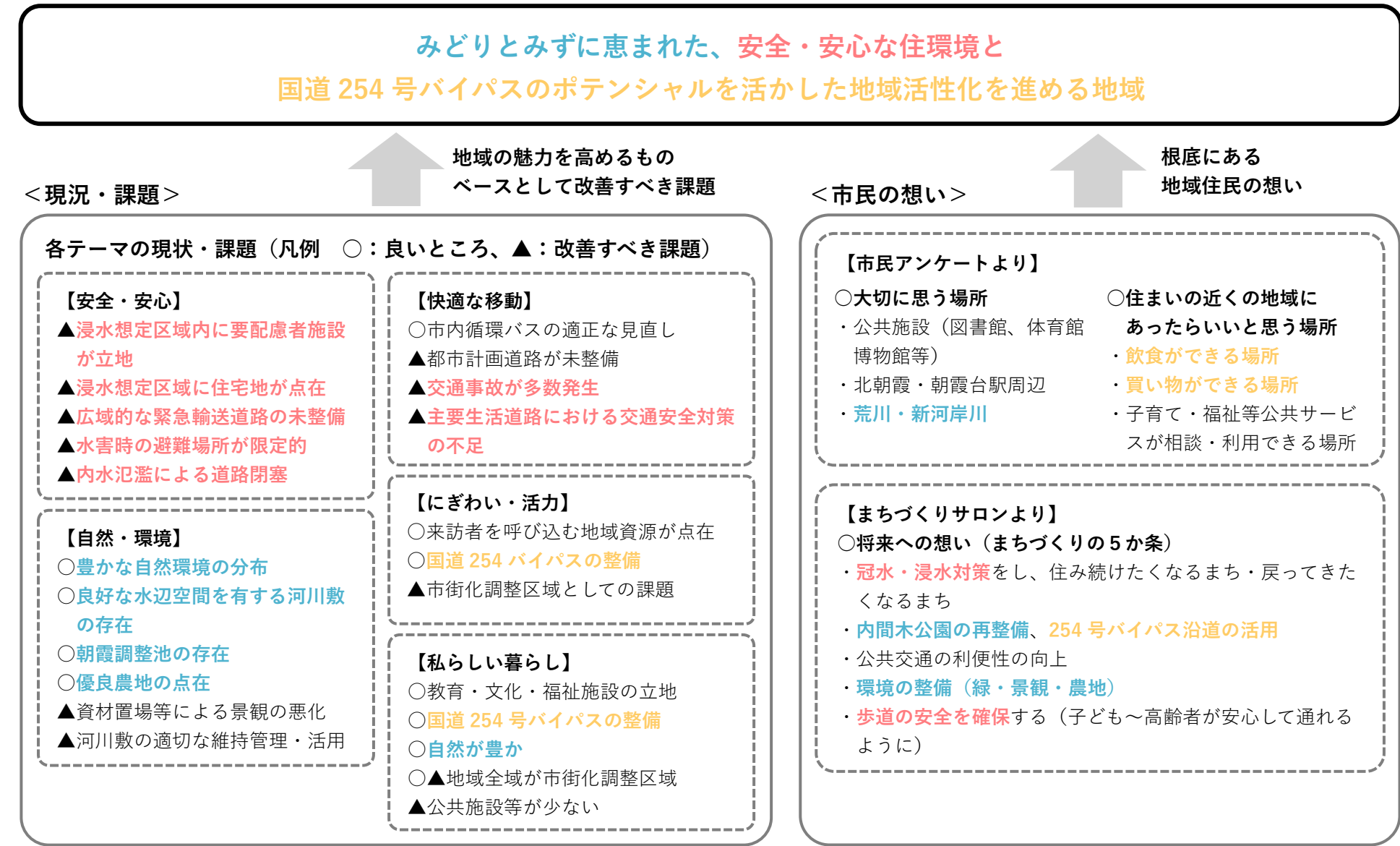
※　例えば、国道 254 号バイパスの整備であれば、テーマ「にぎわい・活力」における産業の活性化と、テーマ「快適な移動」における幹線道路ネットワークの形成、テーマ「安全・安心」における広域的な緊急輸送道路の確保と 3つの役割を担っていることから、この取組の場合、「にぎわい・活力」と「快適な移動」、「安全・安心」の 3つのアイコンが付くことになります。

■ 地域の方針図設定の考え方（南部地域を例としたイメージ）

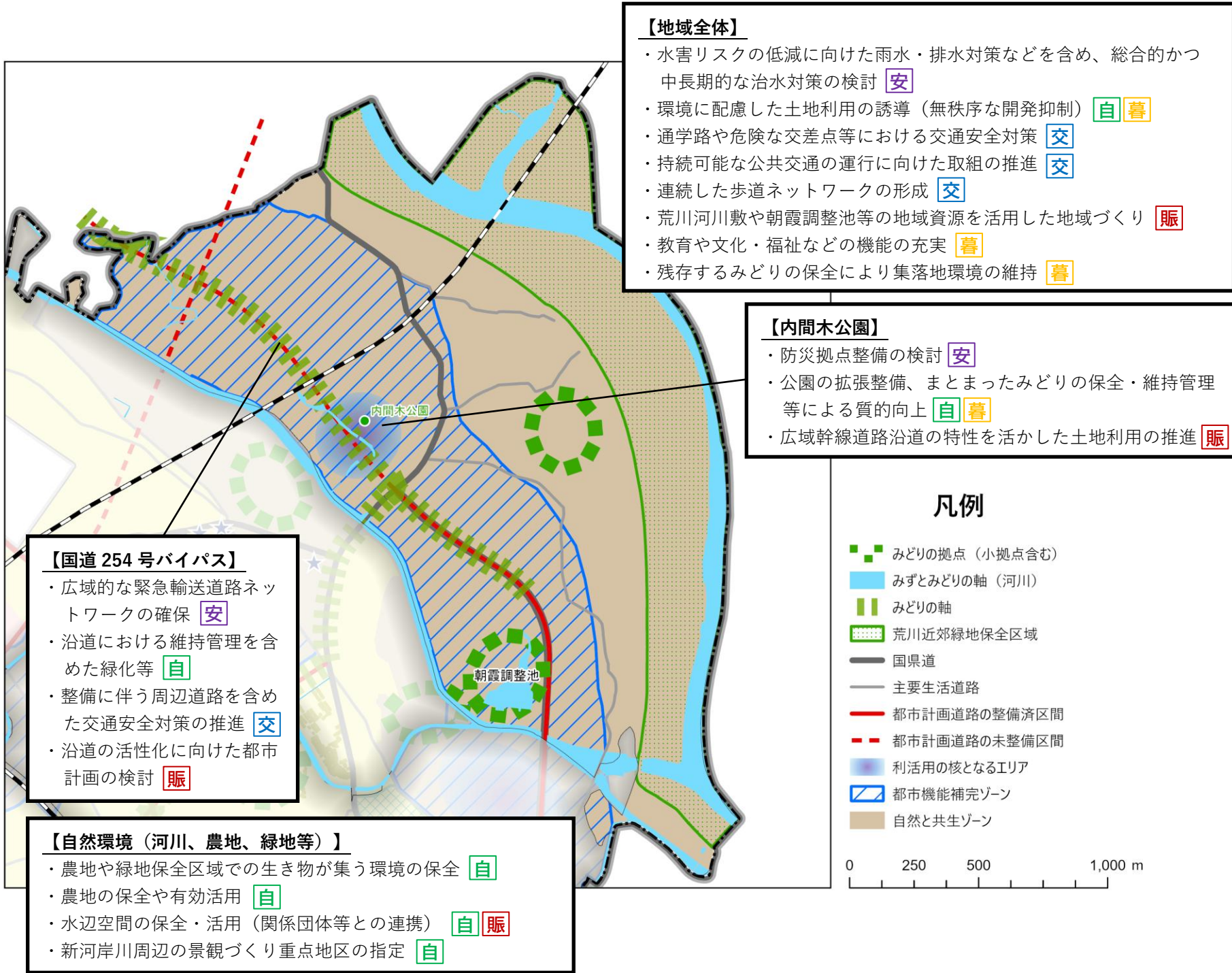


2-1. 地域別の将来像と方針図の検討【内間木地域】

内間木地域の将来像

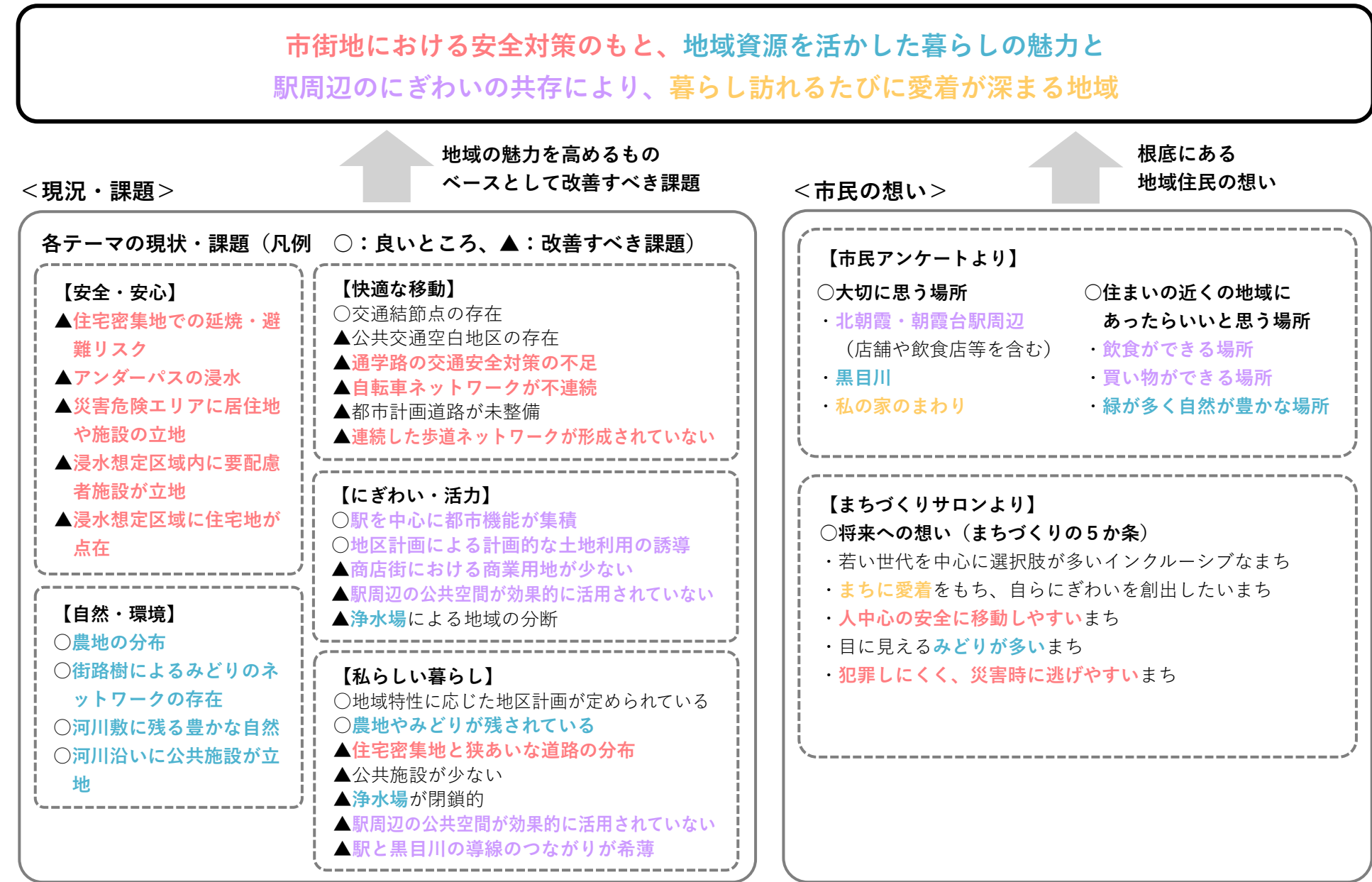


内間木地域の方針図



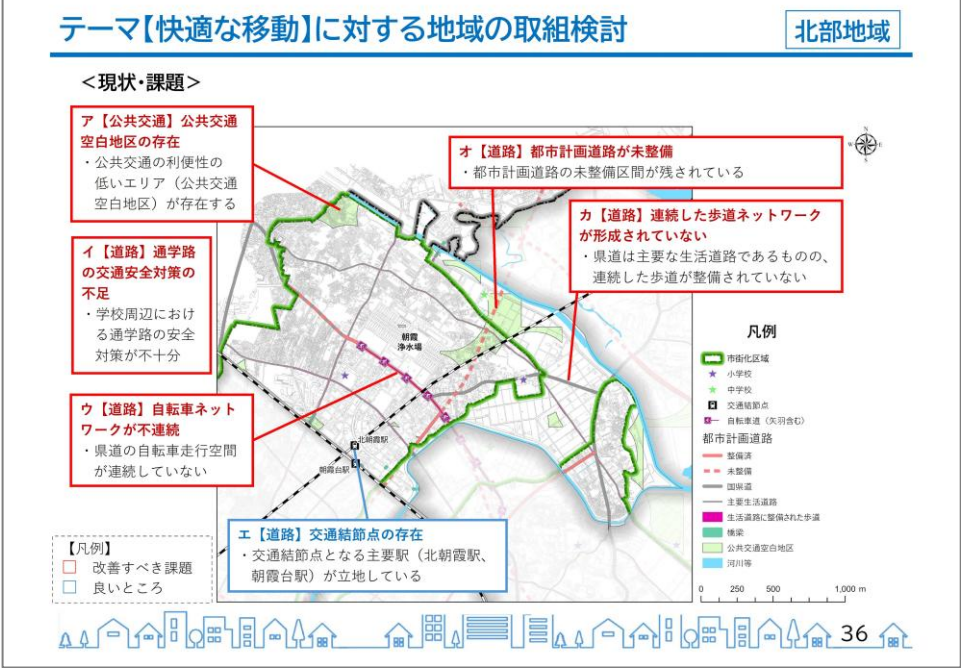
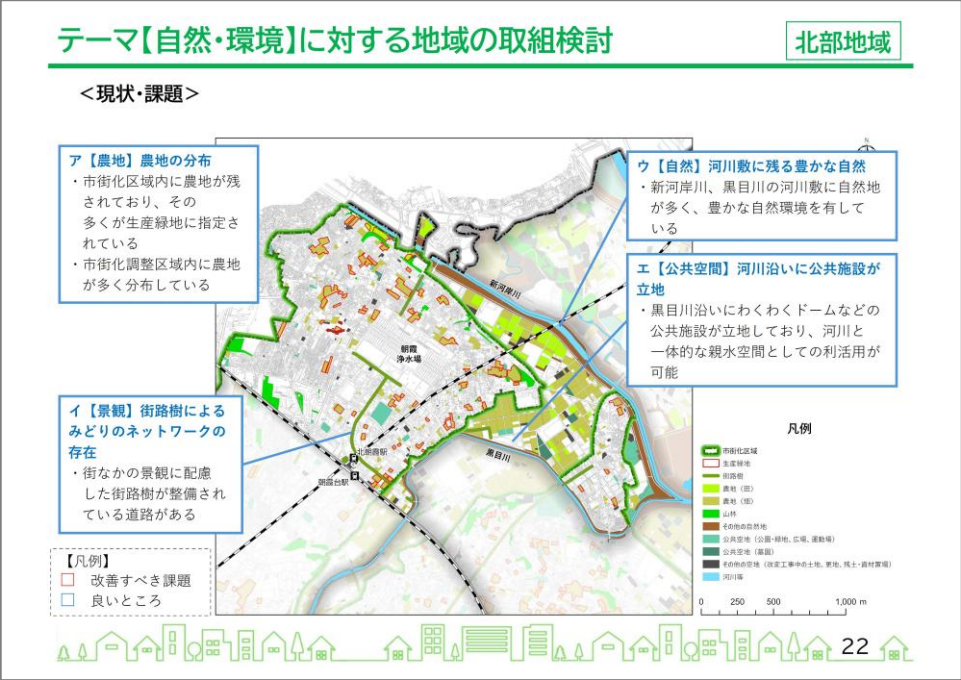
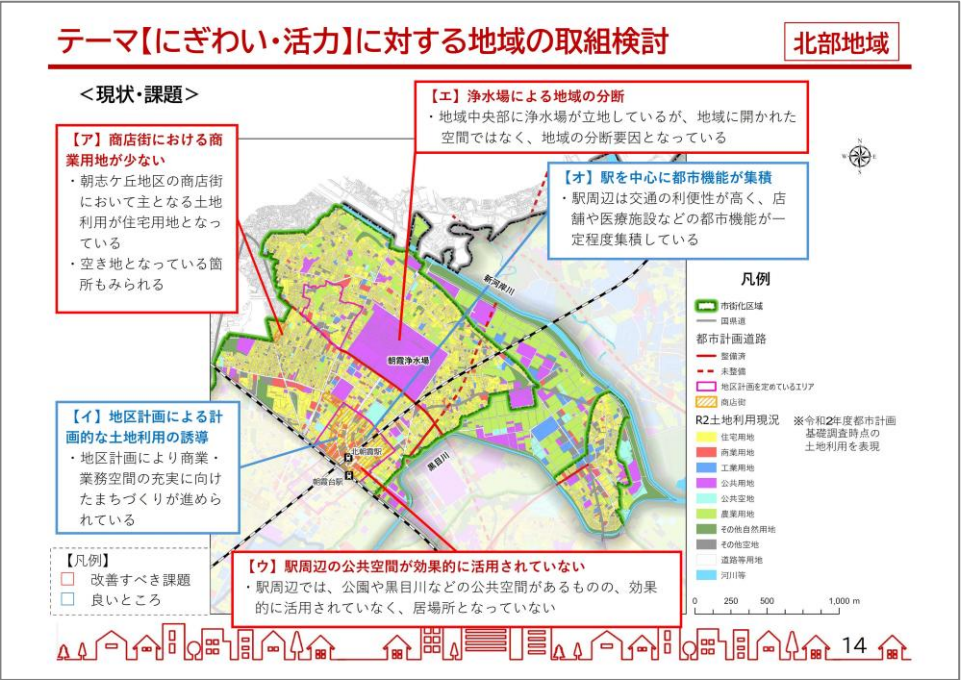
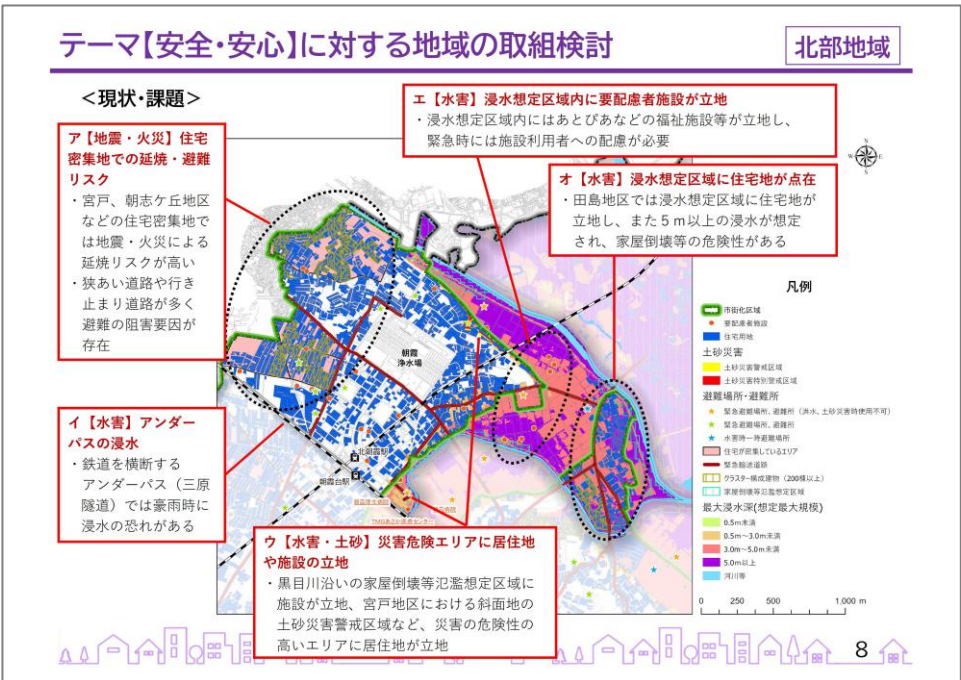
2-2. 地域別の将来像と方針図の検討【北部地域】

北部地域の将来像



(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 北朝霞・朝霞駅周辺（店舗や飲食店等含む）
- 2位 黒目川
- 3位 私の家のまわり
- 4位 特になし
- 5位 公共施設（図書館、体育館、博物館等）

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 飲食ができる場所
- 2位 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）
- 3位 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール）
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 子供が安心して遊べる場所

■【市民の想い】 まちづくりサロン

まちづくりの5か条(将来への想い)

暮らし

若い世代を中心に選択肢が多いインクルーシブなまち

議論の要点

「浄水場と地域の共存（地域住民の利便性等に寄り添った浄水場のあり方）」に関する議論があったほか、買い物等の場面で「選択肢が多い」まちにしたいという意見が出されました。

販わい

まちに愛着をもち、自らにぎわいを創出したいまち

議論の要点

朝霞市の名産である「ニンジン」を活用した（苗の配布、緑被率にちなんで「ニンジン率」を設ける等）賑わいづくりをする案や、市民が庭づくりを楽しむことによる賑わいづくりの案が出されました。

快適な移動

人が中心の安全に移動しやすいまち

議論の要点

将来にわたり人口減少が見込まれることから、車両の通行が多少不便になったとしても、歩行者の通行の安全性やハンディキャップのある方々の安全性を高めるべきだという意見が多く出されました。

自然・環境

目に見えるみどりが多いまち

議論の要点

屋上緑化等により緑被率（上空からみたり）を高めるのではなく、ゴミ集積所の緑化等、緑視率（目にみえるみどり）を高めていくべきだという意見が出されました。

安全・安心

犯罪にくく、災害時に逃げやすいまち

議論の要点

防犯活動に対する補助の拡充の要望があったほか、災害による危険度を可視化したいという意見が出されました。

【模造紙の記入例】

2-3. 地域別の将来像と方針図の検討【東部地域】

東部地域の将来像

農地やみどりが残る居住環境と、駅周辺や国道 254 号バイパス沿道における産業が
共存する生活利便性の高い地域

地域の魅力を高めるもの
ベースとして改善すべき課題

根底にある
地域住民の想い

＜現況・課題＞

各テーマの現状・課題（凡例 ○：良いところ、▲：改善すべき課題）

【安全・安心】

▲住宅密集地での延焼・避難リスク
▲アンダーパスの浸水
▲災害危険エリアに居住地や施設が点在
▲浸水想定区域内に住宅地や施設が点在

【自然・環境】

○農地の分布
○街路樹によるみどりのネットワークの存在
○歴史的文化的資源の点在
○市街化区域内に斜面林等のみどりの存在
▲資材置場等による景観の悪化

【快適な移動】

○交通結節点の存在
▲公共交通空白地区の存在
▲通学路の交通安全対策の不足
▲自転車ネットワークが不連続
▲都市計画道路が未整備
▲連続した歩道ネットワークが形成されていない

【にぎわい・活力】

○駅を中心に都市機能が集積
○駅周辺におけるにぎわい創出のポテンシャル
○地域資源の存在
○工業系土地利用を進めるように準備
○市街化調整区域における有効な土地利用
▲商店街における商業用地が少ない

【私らしい暮らし】

○地域特性に応じた地区計画が定められている
○農地などのみどりが比較的多い
○黒目川沿いに公共公益施設が立地している
▲住宅密集地と狭い道路の分布
▲河川沿いの市街化調整区域に立地する施設周辺環境の悪化

＜市民の想い＞

【市民アンケートより】

○大切に思う場所

・朝霞駅周辺
（店舗や飲食店等を含む）
・黒目川
・朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園

○住まいの近くの地域に
あったらいいと思う場所

・飲食ができる場所
・買い物ができる場所
・緑が多く自然が豊かな場所

【まちづくりサロンより】

○将来への想い（まちづくりの5か条）

・居住環境を高めつつ、地域力も高める
・メリハリをつけてにぎわいを創出
・誰もが移動しやすい環境の創出
・農地や斜面林等の地域資源の維持・活用
・もしもに備えて地域の防災をバージョンアップ

東部地域の方針図

【地域全体】

・都市計画道路（岡通線、駅東通線）の整備による幹線道路ネットワークの形成 **交**
・通学路や危険な交差点等における交通安全対策の検討 **安交**
・連続した歩道及び自転車ネットワークの形成 **交**
・地域と連携した多様な移動手段の確保 **交**
・地区計画を活用した良好な住環境の形成 **暮**
・駅前広場や公園などの公共空間利活用の推進 **賑暮**
・市街化調整区域での無秩序な開発抑制 **暮**

【災害リスクへの対応】

・水害リスクの低減に向けた雨水・排水対策などを含め、総合的かつ中長期的な治水対策の検討 **安**
・朝霞リードタウン南側の土砂災害警戒区域など災害の危険性の高いエリアからの居住の誘導 **安**
・岡3丁目、根岸台1～4丁目、8丁目における住宅密集地の防災機能強化や狭い道路の交通環境の整備、防火対策の推進 **安暮**
・鉄道を横断するアンダーパス部等の浸水対策の検討 **安**

【朝霞駅周辺】

・朝霞駅周辺への商業施設等の誘導や利便性の高い公共施設の集約化 **暮**
・駅周辺におけるバリアフリーやユニバーサルデザインにも配慮した交通結節機能強化や、人中心のウォカブルな空間の確保
・駅周辺における既存ストックを活用した都市機能の充実を図るとともに、建物1階部分のオープン化により歩いて楽しい空間の形成 **賑**
・仲町地区など地域を支える既存商店街を活用した生活に身近な商業環境の充実を支援 **賑**

【地域資源】

・旧高橋家住宅など歴史的文化的資源の保全とまちづくり資源としての活用 **自賑**
・貴重な湧水である代官水の保全・維持管理 **自賑**
・点在している崖線の斜面林の保全 **自暮**

【産業】

・国道 254 号バイパス沿道の活性化に向けた検討（市街化編入など） **賑**
・広域幹線道路沿道の特性を活かした産業用地の創出 **賑**
・地域内に立地する企業や教育施設との連携・協働による地域経済の活性化の実現 **賑暮**

凡例

アンダーパス

都市拠点

みどりの拠点（小拠点含む）

みずとみどりの軸（河川）

みどりの軸

駅前広場

国道

主要生活道路

都市計画道路の整備済区間

都市計画道路の未整備区間

都市機能補完ゾーン

利活用の核となるエリア

地区計画を定めているエリア

クラスター構成建物（200棟以上）

歩きたくなるウォカブル推進モデルゾーン

住みよいくらしゾーン

産業と共生ゾーン

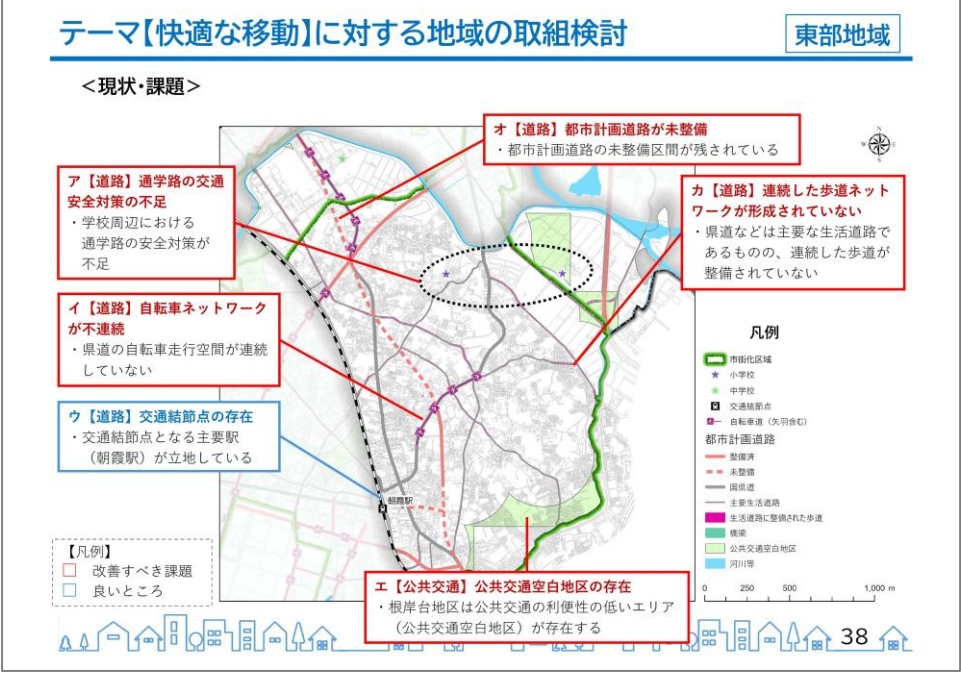
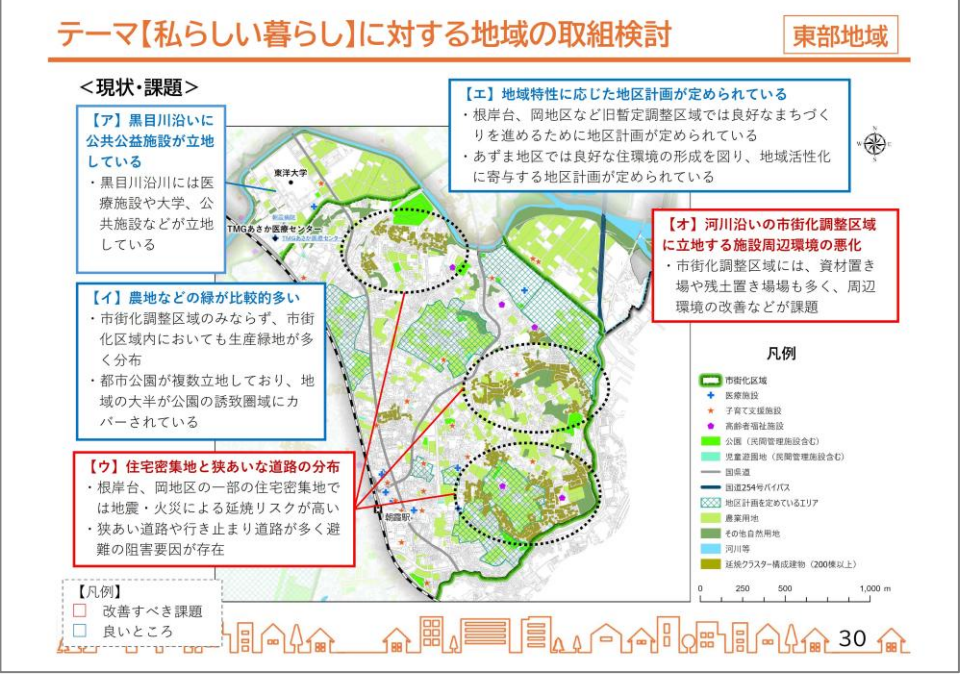
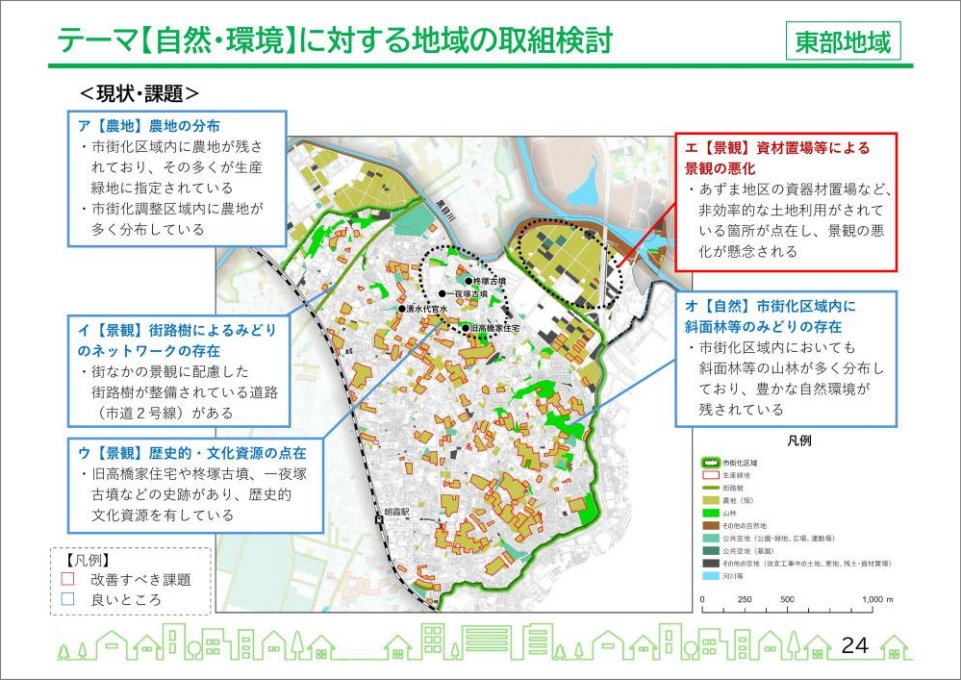
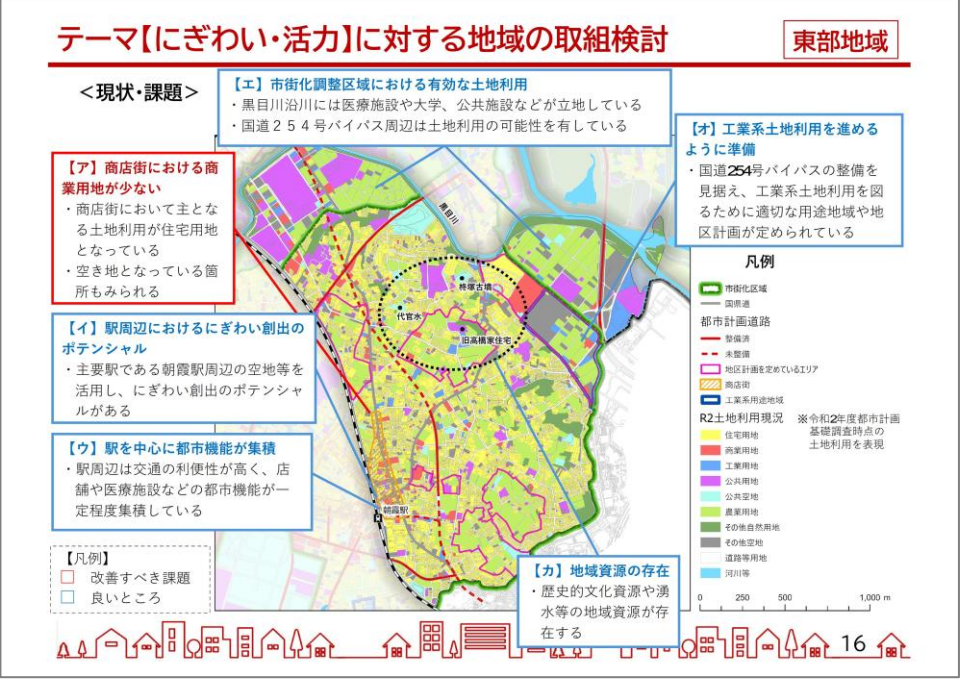
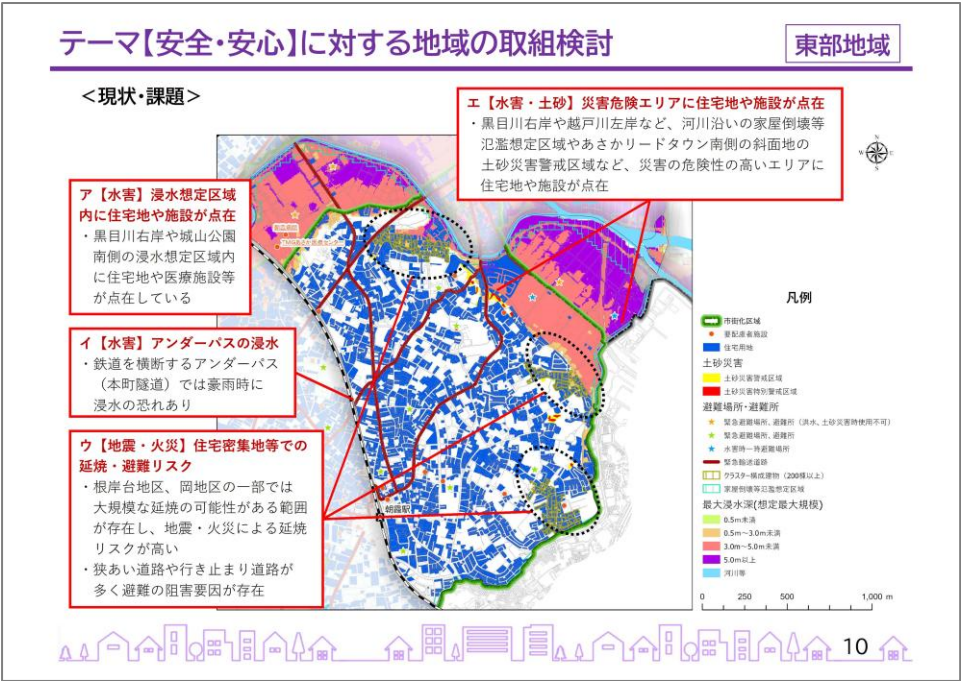
自然と共生ゾーン

0 250 500 1,000 m

6

(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 朝霞駅周辺（店舗や飲食店等含む）
- 2位 黒目川
- 3位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園
- 4位 公共施設（図書館、体育館、博物館等）
- 5位 私の家のまわり

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）
- 2位 飲食ができる場所
- 3位 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール）
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 子供が安心して遊べる場所

■【市民の想い】 まちづくりサロン



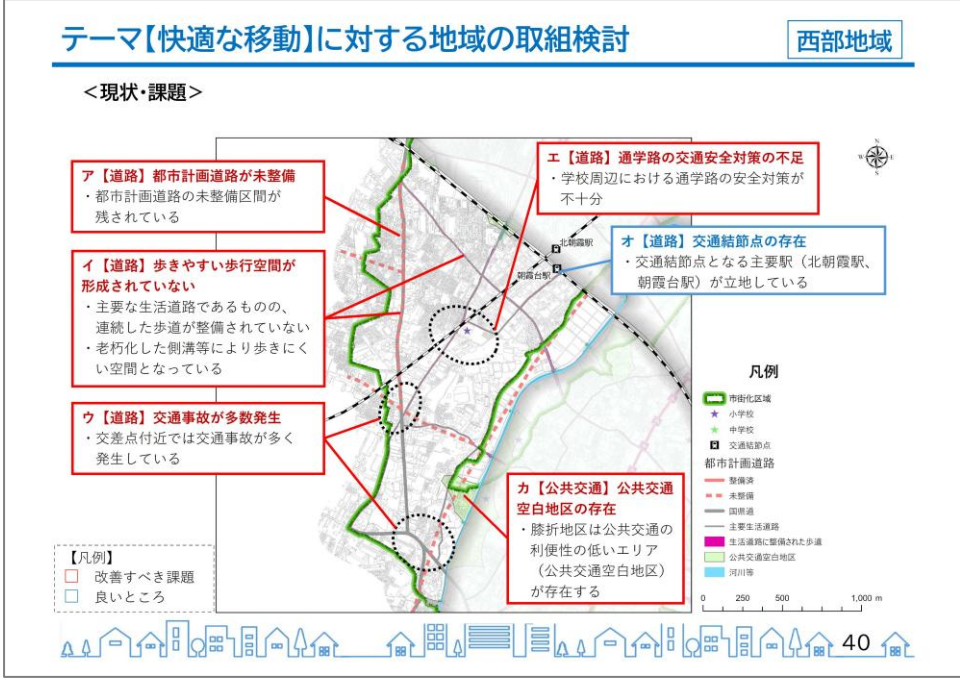
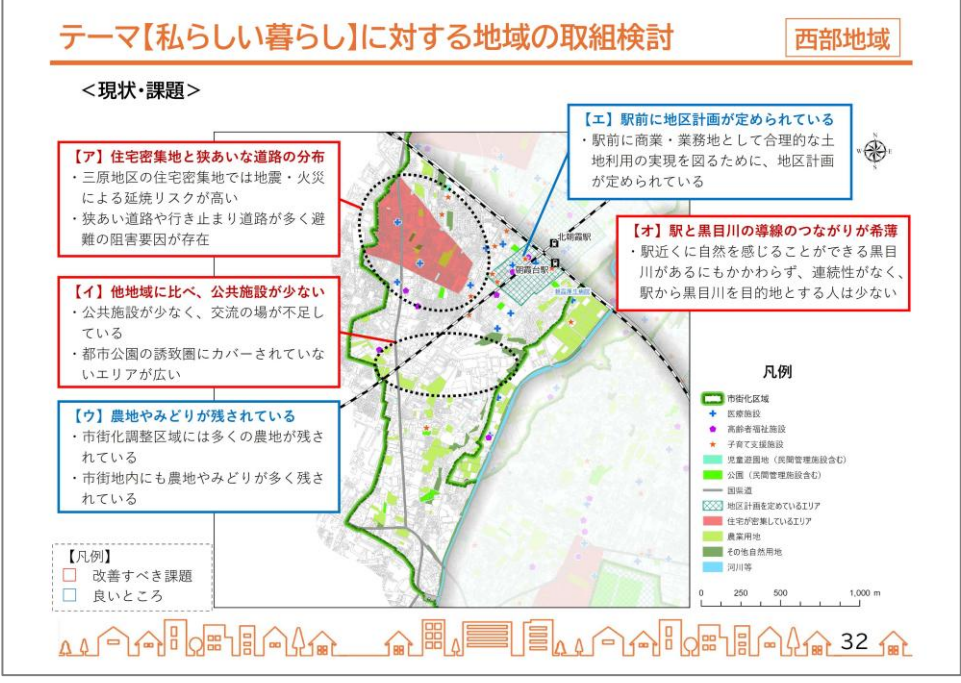
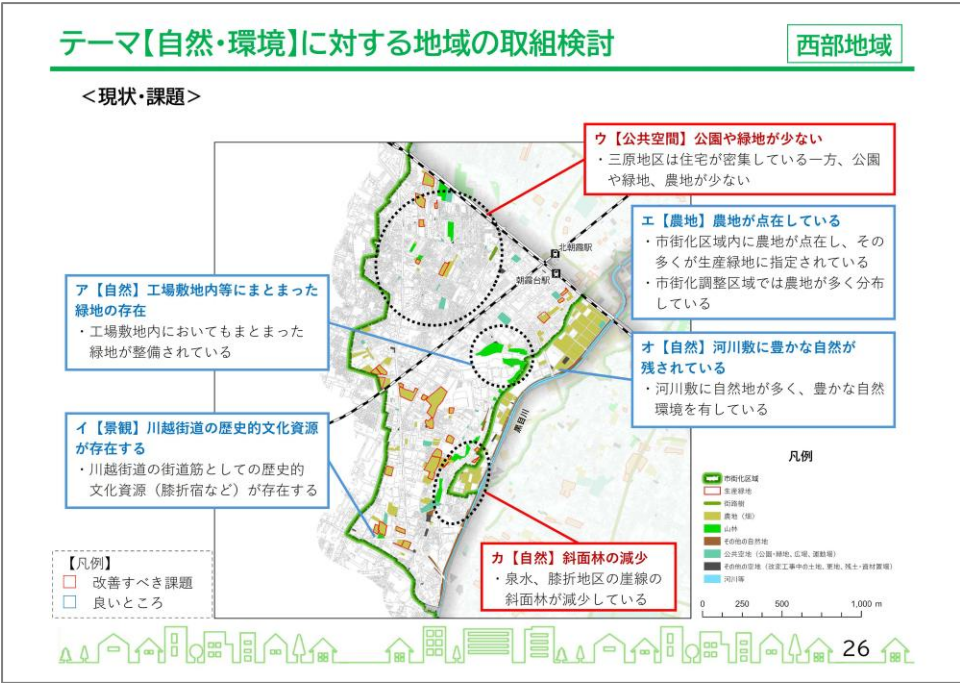
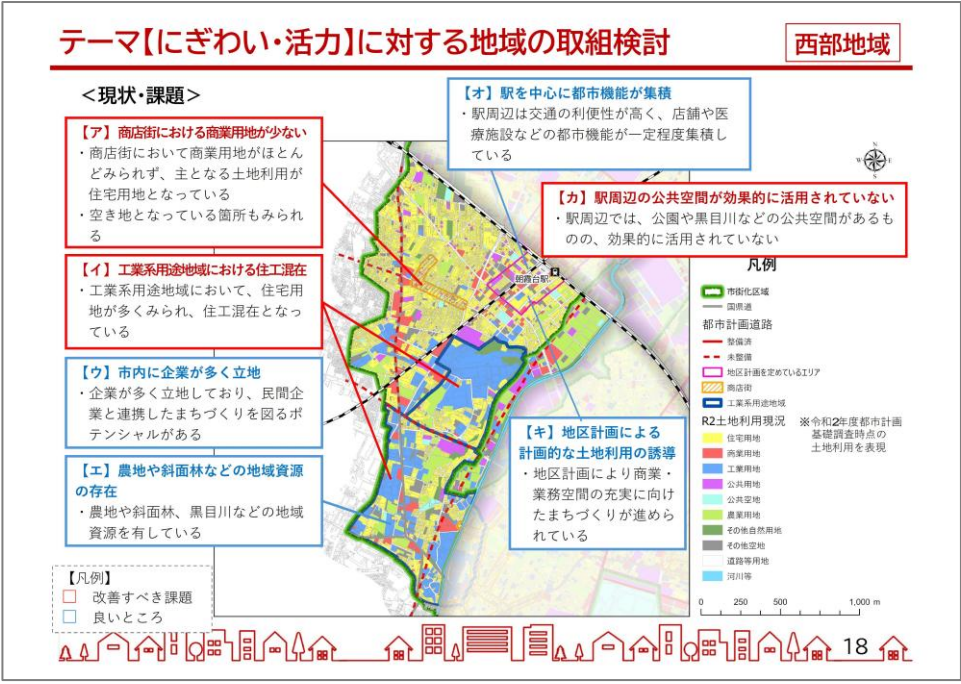
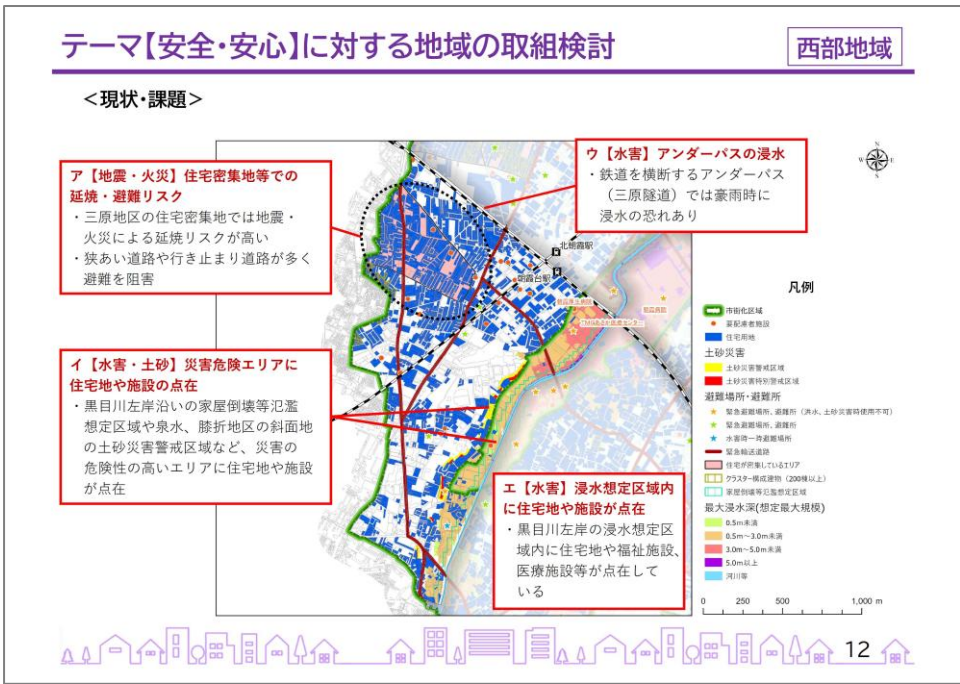
2-4. 地域別の将来像と方針図の検討【西部地域】

西部地域の将来像



(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 黒目川
- 2位 北朝霞・朝霞台駅周辺（店舗や飲食店等含む）
- 3位 特にない
- 4位 私の家のまわり
- 5位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）
- 2位 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール）
- 3位 飲食ができる場所
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 買物ができる場所（個店が集まる商店街）

■【市民の想い】 まちづくりサロン

まちづくりの5か条(将来への想い)

暮らし

コミュニティスペース・複合的

議論の要点

公民館、児童館などコミュニティの場が提供されるほか、子どもが遊べる自由広場も整備すること。また、図書館などの施設を整備する際に、富士見市のように、フリースペースも用意してほしいとの意見がありました。

賑わい

地元農産物の即売場、レストラン等のマルシェ

議論の要点

空き店舗の活用を推奨し、個人商店で会話しながら買い物ができる商店街をつくること。また、地元の農家が作った農産物を味わえる・買える機会の創出が必要との意見もありました。

快適な移動

バスだけでなく移動手段の多様化（デマンドバス（タクシー）、移動販売も兼ねて）

議論の要点

通勤・通学者と高齢者の公共交通に対する需要が異なるため、年代別の需要に対応するように公共交通を整備すること。加えて、定時運行しないバスなどの活用により、全体的な利便性を向上するとの意見もありました。

自然・環境

桜並木の維持・植樹

議論の要点

昔植えた桜の木が「高齢」になり、倒れる危険性があるため、桜並木の維持を図り、計画的に植替えを図ること。

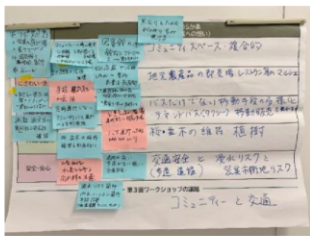
安全・安心

交通安全（歩道、道幅）と浸水リスクと密集市街地リスク

議論の要点

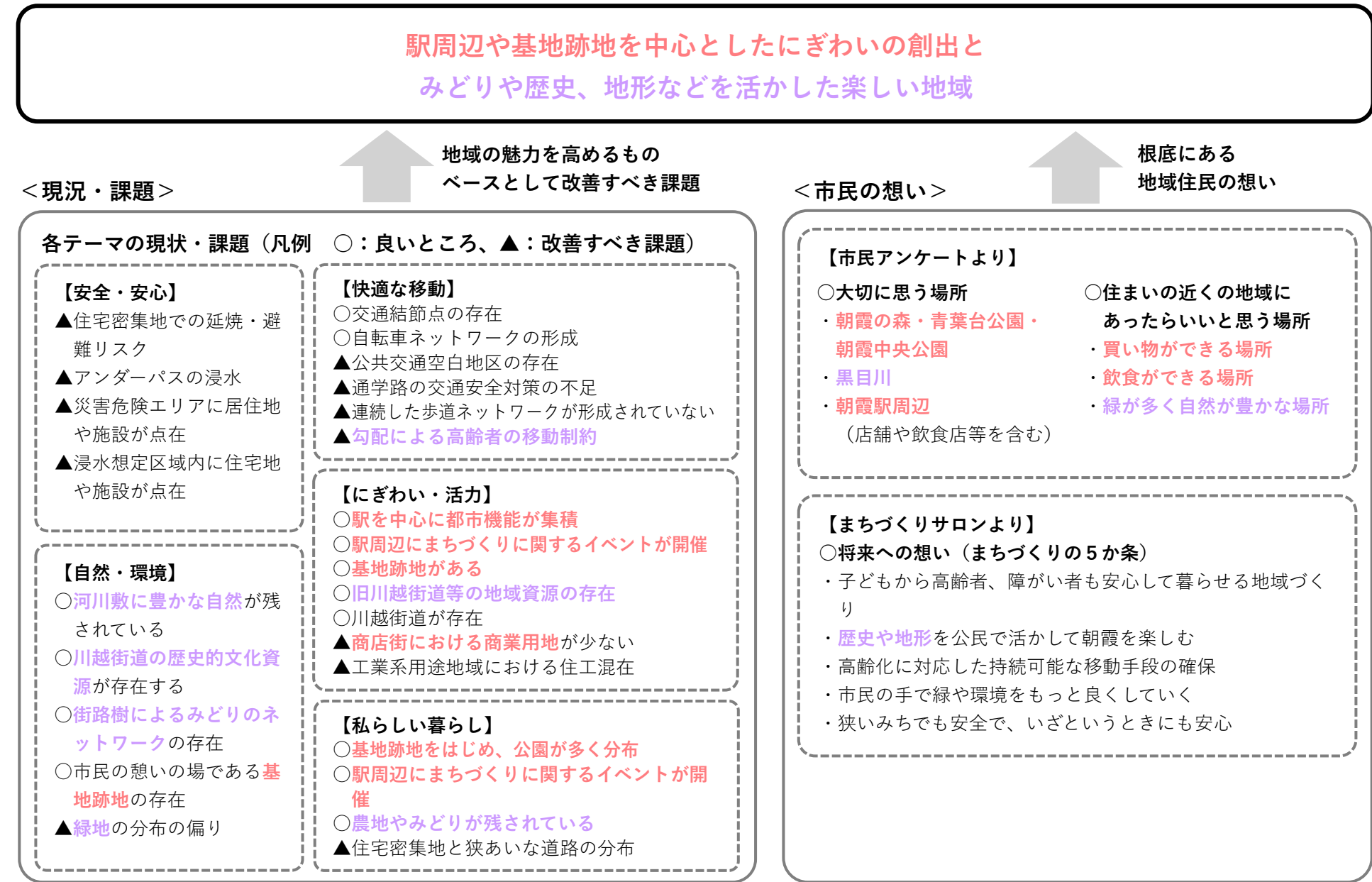
道路が狭く、歩道がないなど、交通安全の確保が求められること。また、地域により浸水リスクがあるため、安全対策を図ることも求められました。

【模造紙の記入例】



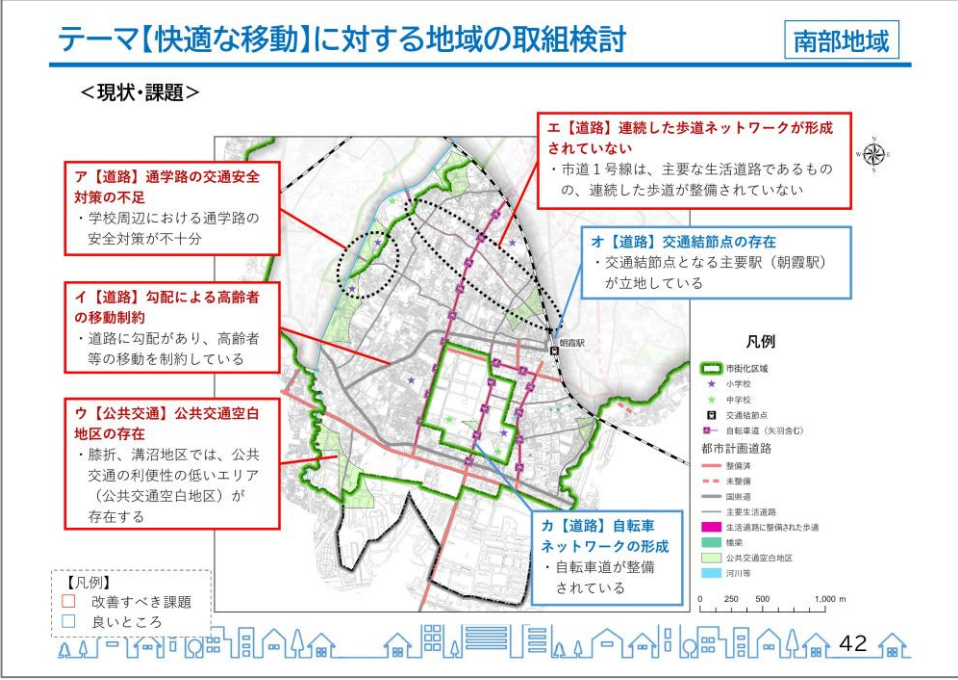
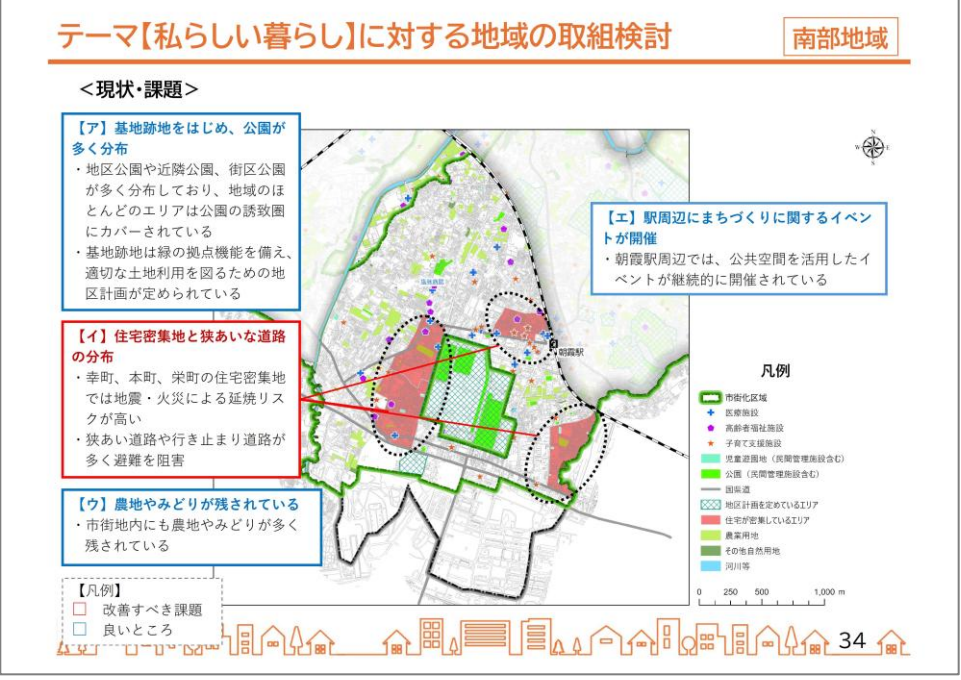
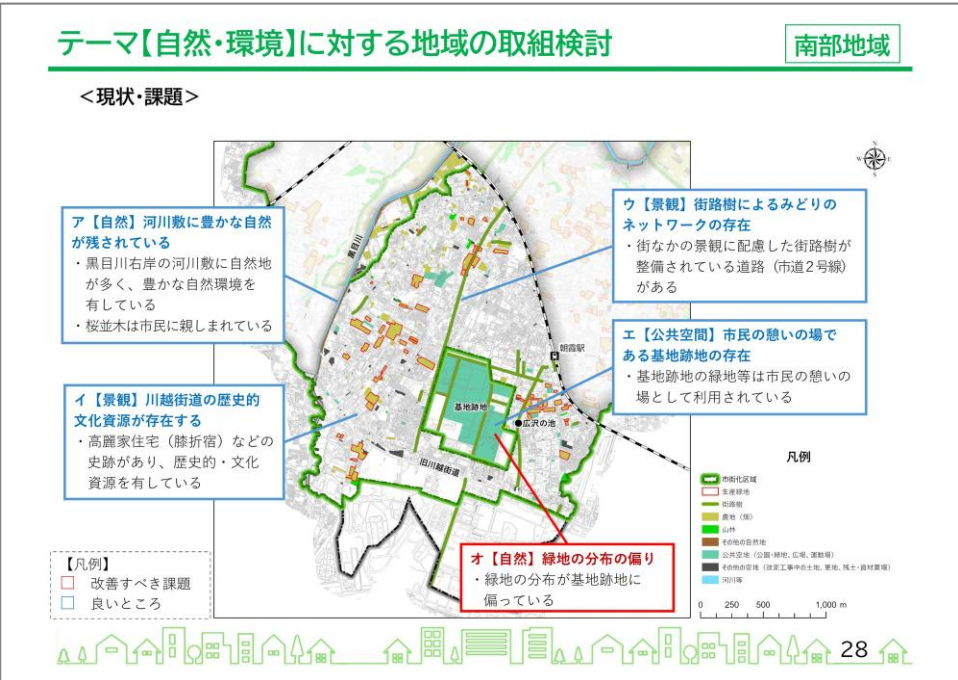
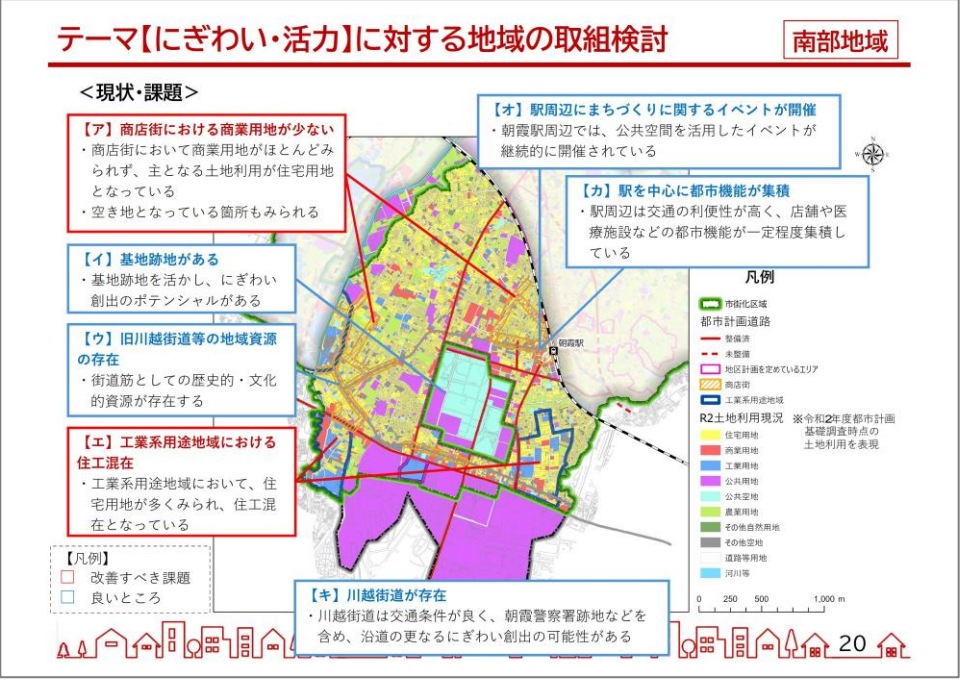
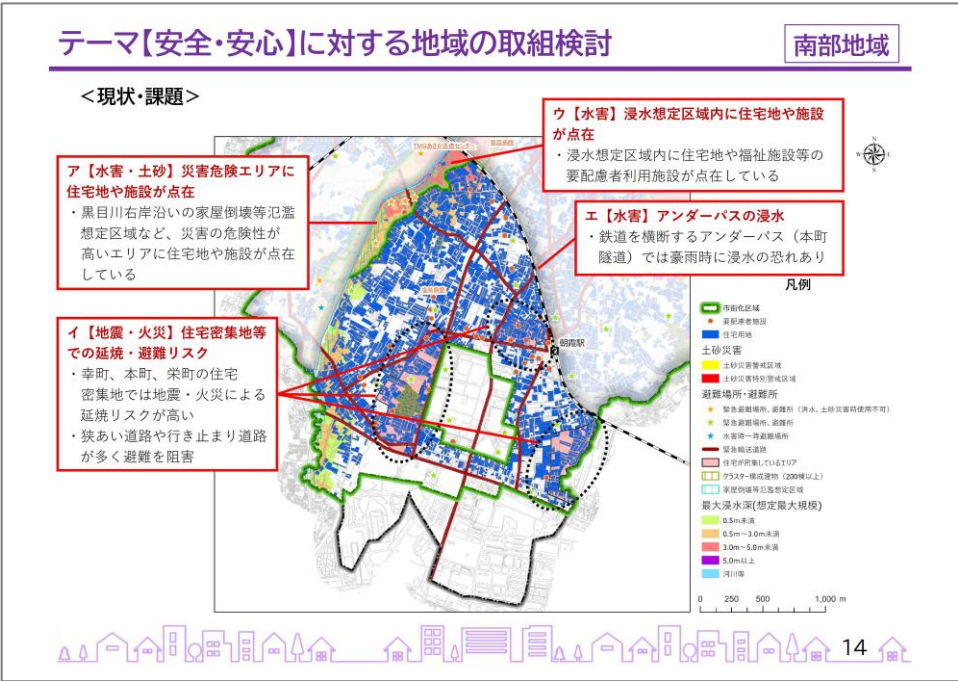
2-5. 地域別の将来像と方針図の検討【南部地域】

南部地域の将来像



(参考) 将来像の設定根拠

■【現状・課題】 5つのテーマに対する現状・課題



■【市民の想い】 市民アンケート

○大切に思う場所

- 1位 朝霞の森・青葉台公園・朝霞中央公園
- 2位 黒目川
- 3位 朝霞駅周辺（店舗や飲食店等含む）
- 4位 私の家のまわり
- 5位 シンボルロード

○住まいの近くの地域にあったらいいと思う場所

- 1位 買い物ができる場所（スーパーやコンビニ等）
- 2位 飲食ができる場所
- 3位 買い物ができる場所（デパートや大規模なショッピングモール）
- 4位 緑が多く自然が豊かな場所
- 5位 買物ができる場所（個店が集まる商店街）

■【市民の想い】 まちづくりサロン

まちづくりの5か条(将来への想い)

暮らし

子どもから高齢者、障がい者も安心して暮らせる環境づくり

議論の要点

比較的孩子が多くファミリー世帯が暮らしやすい反面、坂が多くて高齢者が暮らせるのは元気がうちだけ、といった議論から、どの世代・属性の方々にとっても暮らしやすいまちを目指すこととしました。

賑わい

歴史や地形を公民で活かして朝霞を楽しむ

議論の要点

商店街などの賑わいを高めるだけではなく、膝折宿や坂の多い地形といった、ここにはしかない歴史や地理を楽しんでもらいたい、一方で歴史を残していくために公・民が連携する必要がある、といった意見がありました。

快適な移動

高齢化に対応した持続可能な移動手段の確保

議論の要点

高齢者にとって移動手段は必須だが将来的にも持続可能な公共交通にしなければならないといった課題から、住民もバスにあえて乗らなければ残せない、自動運転などの技術を活用する、などの意見がありました。

自然・環境

市民の手で緑や環境をもっと良くしていく

議論の要点

緑を増やしたり残したりすることを行政任せにするのではなく、市民ボランティアの力を合わせる、緑だけでなく花を飾って楽しむ、といった参加型で緑の保全・創出を目指す意見がありました。

安全・安心

狭いみちでも安全で、いざというときにも安心

議論の要点

道が狭い、歩道がないといった課題が多く聞かれ、狭い道でも安全・安心でありたいという意見がありました。

【模造紙の記入例】

